

読書のすゝめ

その32

H 31 1 / 18



2019若い人に贈る読書のすゝめ

公益社団法人読書推進運動協議会 略称「読推協」が推薦図書24点を発表しました。
これは成人・卒業という新たな一歩を踏み出す若い人に読んでもらいたい本を紹介するものです。



本校では現在6冊のみの所蔵ですが、今年度中にすべて受け入れたいと思います。図書館内・昇降口にリストを掲示しておきます。
→こちらの6冊は貸し出し可能です！



自分の仕事を極めた「先輩」からのメッセージ！



同世代のゆれる心に共感？胸に響くストーリーです



情報・技術とのつきあい方、大人の「ことば」を考え



いろいろな悩みを乗り越え、未来をひらくために

第160回 芥川賞・直木賞「発表！」

(16日・日本文学振興会)

- ※芥川賞 上田岳弘 『ムロツド』
- 町田良平 『TR1分34秒』
- ※直木賞 眞藤順文 宝島

『宝島』は昨年第6回山田風太郎賞も受賞している作品。舞台は本土復帰前の沖縄で、米軍の施設から食料や衣類、薬などを盗み出し「戦果アギヤー」と呼ばれた若者たちの青春を描いたものです。現代に続く基地問題を知る必読の書ともいえます。